



UNIX/LINUX システム用プリンタドライバ

目次

プリンタドライバについて.....	5
UNIX および Linux 用のプリンタドライバを使用する.....	5
プリンタドライバをインストールする.....	6
プリンタドライバをインストールする前に.....	6
サポート対象オペレーティングシステム.....	6
システム要件.....	7
HP-UX へインストールする.....	7
IBM AIX へインストールする.....	8
Red Hat、Red Flag、Linpus、SUSE Linux へのインストール.....	9
Linspire、または Debian Linux にインストールする.....	9
Sun Solaris SPARC へインストールする.....	10
Sun Solaris x86 へインストールする.....	10
プリンタドライバパッケージをインストールする場所.....	11
プリンタドライバパッケージを削除する.....	11
削除されなかったディレクトリを削除する.....	12
タスクを実行する.....	14
プリンタドライバを開く.....	14
プリンタドライバのセットアップ.....	14
管理グループ	14
Web ブラウザ.....	14
用紙サイズ	15
デスクトップ統合	15
アジア言語ドライバ	15
CUPS	16
管理グループ名を変更する.....	16
管理グループにユーザを追加または削除する.....	16
仮想デバイスを作成する.....	17
仮想デバイスを作成する前に	17
デバイスマネージャで仮想デバイスを作成する	17
コマンドラインから仮想デバイスを作成する.....	18
印刷キューを作成する.....	18
印刷キューの追加ウィザードで印刷キューを作成する	18
コマンドラインから印刷キューを作成する	19
印刷キューの状態を変更する.....	20

印刷キューのプロパティを変更する.....	21
プリンタエイリアスを操作する.....	21
プリンタエイリアスについて.....	21
エイリアスのある印刷キューを作成する.....	21
印刷キューのエイリアスを表示する.....	21
プリンタクラスを操作する.....	22
プリンタクラスについて.....	22
クラスを作成する.....	22
クラスに追加する.....	22
キューをクラスから削除する.....	23
プリンタグループを管理する.....	23
プリンタグループを作成する.....	23
印刷キューを[マイプリンタ]やその他のプリンタグループに追加する.....	23
プリンタグループを削除する.....	23
コマンドラインから印刷する.....	24
ファイルを印刷する.....	25
テストページを印刷する.....	25
両面印刷ジョブを印刷する.....	25
1枚の用紙に複数のページを印刷する.....	26
ドキュメントを複数部印刷する.....	26
印刷ジョブの印刷方向を変更する.....	26
1ページあたりの行数を変更する.....	27
テキストファイルを印刷するときの印刷可能領域を定義する.....	27
[印刷して保持]設定を使用する.....	27
カスタムバナーページを作成する.....	28
バナープログラムを記述する.....	28
バナープログラムを使用する.....	29
仮想デバイスを変更する.....	29
仮想デバイスを削除する.....	29
別のプリンタで印刷するように印刷キューを変更する.....	30
印刷キューを削除する.....	30
プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新).....	31
プラグインマネージャユーティリティを使用する.....	31
プリンタドライバからプラグインをインストールする.....	31
プリンタドライバからプラグインを削除する.....	31
コマンドラインからプラグインマネージャユーティリティを使用する.....	31

よくある質問(FAQ).....33

コマンドライン.....	33
--------------	----

印刷キューの管理.....	33
一般ユーザまたは管理者.....	34
プログラムまたはキューの標準設定.....	34
関連項目.....	35
トラブルシューティング.....	36
印刷キューは空になっているが、自分のドキュメントが印刷されなかった.....	36
ジョブが印刷キューに長時間表示される.....	36
印刷キューが印刷ジョブを受け付けない.....	37
印刷キューが無効になっているかダウンしている.....	37
Java GUI が起動しない.....	38
印刷キューに送信したファイルが正常に印刷されない.....	39
ホスト名が解決されない.....	39
プリンタドライバがネットワークプリンタを見つけることができない.....	39
プリンタ機種名が表示されない.....	40
ジョブが印刷されない.....	40
その他の問題.....	40
エディションおよび商標.....	42
商標と著作権.....	42
UNITED STATES GOVERNMENT RIGHTS.....	42
商標.....	42
Additional Licenses.....	43
用語集.....	45
索引.....	49

プリンタドライバについて

UNIX および Linux 用のプリンタドライバを使用する

UNIX および Linux システム用プリンタドライバには、システム管理者の作業を軽減し、ユーザーの生産性を向上させることが可能なさまざまな機能が用意されています。

- **印刷キューウィザードとデバイスウィザード**-管理者は、ウィザードを使用して仮想デバイスとプリンタキューを容易に設定することができます。
- **ネットワークプリンタの検索**-検索機能により、IP サブネットまたは IP 範囲内でプリンタを簡単に検索できます。
- **印刷サブシステムとの統合**-プリンタドライバは、ネイティブな印刷サブシステムに統合され、既存の印刷キューおよびソフトウェアとともに機能します。
- **頻繁に使用するオプション**-システム管理者は、両面印刷やバナーなしページなどの最も頻繁に使用するオプションを標準設定として指定してキューを作成できるため、ユーザーはこれらのオプションを指定する必要はありません。
- **プリンタオプションのサポート**-ユーザーは、複数ページ印刷、送信して保持、両面印刷、用紙のサイズなど、いくつかのプリンタ固有のオプションにアクセスすることができます。
- **ジョブ送信用グラフィカルインターフェイス**-ユーザーは、lp コマンドの代わりに lpxlp コマンドを使用してグラフィカルインターフェイスにアクセスし、印刷時にキューごとのオプションを変更できます。
- **ジョブコマンドラインオプション**-ユーザーは、lp または lpr コマンドラインにオプションを指定して、キューごとの標準設定を変更できます。
- **ユーザごとの固有の設定**-ユーザは、各自のプリンタキュー設定を自分のホームアカウントに保存できます。
- **ネイティブな印刷サブシステムのバイパス機能**-転送ユーティリティを使用して、ネイティブな印刷サブシステムをバイパスし、データをプリンタに直接送信できます。
- **プリンタグループ(My Printers)**-ユーザーは、印刷キューをグループ化することができます。
- **プリンタクラス**-システム管理者は、グラフィカルインターフェイスを使用して標準のプリンタクラスを管理できます。
- **強化されたセキュリティ**-指定された UNIX グループ ID を持つユーザーがキューを設定できます。

プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバをインストールする前に

- 1 root ユーザー権限でログオンしていることを確認します。
- 2 インストールに必要な十分な空きディスク領域があることを確認します。
詳細については 7 ページの「システム要件」および 11 ページの「プリンタドライバパッケージをインストールする場所」を参照してください。
- 3 管理ユーザーグループを設定します。

プリンタドライバのインストール中に、プリンタドライバの管理ユーザーグループを変更するかどうか尋ねられます。AIX を除くすべてのシステムの標準の管理グループは bin です。AIX の標準の管理グループは printq です。ホスト上に管理グループがある場合は、そのグループをプリンタドライバの管理グループとして使用することもできます。管理グループ以外のユーザーは、印刷キューを追加することも削除することもできません。

詳細については、16 ページの「管理グループ名を変更する」を参照してください。

メモ: Solaris 上でプリントクライアントとプリントサーバーを使用している場合、プリンタドライバの管理機能にアクセスするには、プリンタドライバをプリントサーバー上にインストールしてください。

サポート対象オペレーティングシステム

使用している UNIX が以下のいずれかであり、入手可能な最新のパッチを適用したことを確認してください。

- HP-UX
- IBM AIX
- Sun Solaris SPARC
- Sun Solaris x86
- Linux システム
 - Red Hat Linux WS
 - Red Flag Linux Desktop(簡体字中国語)
 - SUSE Linux
 - Debian GNU/Linux
 - Linspire Linux
 - Linpus LINUX Desktop(繁体字中国語)

サポートしているオペレーティングシステムの特定のバージョンについては、お使いのオペレーティングシステムのホームページを参照するか、インストール後に /usr/lexprint/docs/supported-platforms.txt を参照してください。

システム要件

プリンタドライバをインストールするのに必要な空きディスク領域は以下のとおりです。以下の表を参照し、プリンタドライバのインストールに必要な空きディスク領域があることを確認してください。

システム	インストールに必要な空きディスク領域
IBM AIX	/usr/lpp に 62MB
HP-UX	/opt に 130MB
Sun Solaris	/opt に 75MB インストール時に /tmp または /var/tmp に 75MB
Linux	/usr/local に 70MB

HP-UX へインストールする

- 6 ページの「プリンタドライバをインストールする前に」をお読みください。
- プリンタドライバをインストールするのに必要なハードディスク領域が /opt にあることを確認します。
空き領域の確保の詳細については、11 ページの「プリンタドライバパッケージをインストールする場所」を参照してください。
- Lexmark プリンタドライバパッケージ (print-drivers-hpux11.11.pkg.gz) は、Lexmark のホームページからダウンロードします。<http://www.lexmark.com/drivers>。
- ダウンロードしたプリンタソフトウェアパッケージを /tmp ディレクトリに保存し、以下のコマンドを入力してパッケージファイルを展開します。

```
# /usr/contrib/bin/gunzip /tmp/print-drivers-hpux11.11.pkg.gz
```
- 以下のコマンドを入力して、[ソフトウェア保存場所インストールダイアログ]を開始します。

```
# /usr/sbin/swinstall
```
- [元の保存場所]が Network Directory/CDROM(ネットワークディレクトリ/CDROM)になっていて、インストール先のコンピュータのホスト名が[元のホスト名]テキストボックスに表示されていることを確認します。これらのフィールドが正しくない場合は、正しい値を入力するか、一覧から選択します。
- [Source Depot Path(元の保存場所のパス)]フィールドに以下のパスを入力して、HP-UX パッケージファイルのフルパスを指定します。

```
/tmp/print-drivers-hpux11.11.pkg
```
- インストールするバンドルを選択します。
 - LexPrtDrvs バンドルをクリックします。
 - [操作]をクリックしてから、[インストール]をクリックします。
- [OK]をクリックしてインストールを開始します。
メモ: SAM または SMH を起動したときに HOME 変数が root に設定されていない場合は、エラーメッセージが表示されます。メッセージを無視して[OK]をクリックします。

10 インストールログを表示するには、インストール時に[ログファイル]を選択します。インストール時にエラーや警告が発生しなかったことを確認してください。

メモ: インストールに必要な十分なディスク領域が /opt/lexmark にない場合は、11 ページの「プリンタドライバパッケージをインストールする場所」を参照してください。

11 インストールが完了したら、[完了]をクリックして SAM または SMH を終了します。

12 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /opt/lexmark/setup.lexprint
```

メモ: 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページを確認して、利用可能なソフトウェアプラグインがあるかどうか確認してください。詳細については、31 ページの「プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)」を参照してください。

IBM AIX へインストールする

1 6 ページの「プリンタドライバをインストールする前に」をお読みください。

2 プリンタドライバをインストールするのに必要な空きディスク領域が /usr/lpp にあることを確認します。

空き領域の確保の詳細については、11 ページの「プリンタドライバパッケージをインストールする場所」を参照してください。

3 Lexmark プリンタドライバパッケージ(print-drivers-aix5-sysv.pkg.gz)は、Lexmark のホームページからダウンロードします。<http://www.lexmark.com/drivers>

4 ダウンロードしたパッケージを /tmp ディレクトリに保存し、以下のコマンドを入力してパッケージファイルを展開します。

```
# /opt/freeware/bin/gunzip /tmp/print-drivers-aix5-sysv.pkg.gz
```

5 コマンドラインで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
# smit install_latest
```

6 ソフトウェアの入力デバイスディレクトリを入力するように求められたら、以下を入力します。

```
/tmp/print-drivers-aix5-sysv.pkg
```

7 インストールするパッケージを選択します。標準では、すべてのパッケージがインストールされます。

a インストールするソフトウェアのオプションで、[一覽]を選択します。

b インストールするパッケージを選択します。

c [OK]をクリックします。

8 その他のインストールオプションを指定します。

9 [OK]をクリックし、プリンタドライバのインストールを開始します。

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

10 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /usr/lpp/lexprint/setup.lexprint
```

メモ: 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページを確認して、利用可能なソフトウェアプラグインがあるかどうか確認してください。詳細については、31 ページの「プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)」を参照してください。

Red Hat、Red Flag、Linpus、SUSE Linux へのインストール

1 6 ページの「プリンタドライバをインストールする前に」をお読みください。

2 プリンタドライバをインストールするのに必要な空きディスク領域が /usr/local にあることを確認します。

空き領域の確保の詳細については、11 ページの「プリンタドライバパッケージをインストールする場所」を参照してください。

3 プリンタドライバパッケージ (print-drivers-linux-glibc2-x86.rpm) は、Lexmark のホームページからダウンロードします。<http://www.lexmark.com/drivers>

4 以下のコマンドを実行して、パッケージファイルをインストールします。

```
# rpm -ivh /tmp/print-drivers-linux-glibc2-x86.rpm
```

5 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /usr/local/lexmark/setup.lexprint
```

メモ: 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページを確認して、利用可能なソフトウェアプラグインがあるかどうか確認してください。詳細については、31 ページの「プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)」を参照してください。

Linspire、または Debian Linux にインストールする

1 6 ページの「プリンタドライバをインストールする前に」をお読みください。

2 プリンタドライバをインストールするのに必要な空きディスク領域が /usr/local にあることを確認します。

空き領域の確保の詳細については、11 ページの「プリンタドライバパッケージをインストールする場所」を参照してください。

3 プリンタドライバパッケージ (print-drivers-linux-glibc2-x86.rpm) は、Lexmark のホームページからダウンロードします。<http://www.lexmark.com/drivers>.

4 パッケージファイルをインストールします。

```
# dpkg -i /tmp/print-drivers-linux-glibc2-x86.deb
```

5 以下のセットアップスクリプトを実行して、インストールを完了します。

```
# /usr/local/lexmark/setup.lexprint
```

メモ: 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページを確認して、利用可能なソフトウェアプラグインがあるかどうか確認してください。詳細については、31 ページの「プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)」を参照してください。

Sun Solaris SPARC ヘインストールする

1 6 ページの「プリンタドライバをインストールする前に」をお読みください。

2 NONABI_SCRIPTS 環境変数を **TRUE** に設定します。

3 コマンドラインで以下のコマンドを入力して、OPENWINHOME 環境変数が設定されていることを確認します。

```
# env | grep OPENWINHOME
```

応答がない場合は、OPENWINHOME 環境変数を **openwin** ディレクトリに設定する必要があります。

4 パッケージファイルをインストールします。

a Lexmark プリンタドライバパッケージ (print-drivers-solaris8-10.pkg.gz) は、次の Lexmark のホームページから <http://www.lexmark.com/drivers> ダウンロードします。

b ダウンロードしたパッケージを /tmp ディレクトリに保存し、以下のコマンドを入力してパッケージファイルを展開します。

```
# gunzip /tmp/print-drivers-solaris8-10-sparc.pkg.gz
```

c 以下のコマンドを入力してパッケージインストールプログラムを起動します。

```
# pkgadd -d /tmp/print-drivers-solaris8-10-sparc.pkg
```

5 利用可能なパッケージの一覧が表示されます。

- すべてのパッケージを表示するには、**a11** と入力して **Enter** キーを押します。
- パッケージを個別にインストールするには、各パッケージ番号をカンマで区切って入力し、**Enter** キーを押します。

メモ: すべてのパッケージを同じ場所にインストールする必要があります。

6 画面に表示されるプロンプトに従って、質問が表示されたらそれに答えます。

- 標準設定のまま変更しない場合は、**Enter** キーを押します。
- yes または no で答える質問に対しては **y**、**n**、または **?** と入力して **Enter** キーを押します。
- インストールが正常に済んだことを知らせるメッセージが表示されたら **q** を入力してインストールプログラムを終了します。

メモ: 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページを確認して、利用可能なソフトウェアプラグインがあるかどうか確認してください。詳細については、31 ページの「プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)」を参照してください。

Sun Solaris x86 ヘインストールする

1 6 ページの「プリンタドライバをインストールする前に」をお読みください。

2 NONABI_SCRIPTS 環境変数を **TRUE** に設定します。

3 コマンドラインで以下のコマンドを入力して、OPENWINHOME 環境変数が設定されていることを確認します。

```
# env | grep OPENWINHOME
```

応答がない場合は、OPENWINHOME 環境変数を **openwin** ディレクトリに設定する必要があります。

4 パッケージファイルをインストールします。

a Lexmark プリンタドライバパッケージ (print-drivers-solaris10-x86.pkg.gz) は、Lexmark のホームページからダウンロードします。 <http://www.lexmark.com/drivers>

b ダウンロードしたパッケージを /tmp ディレクトリに保存し、以下のコマンドを入力してパッケージファイルを展開します。

```
# gunzip /tmp/print-drivers-solaris10-x86.pkg.gz
```

c 以下のコマンドを入力してパッケージインストールプログラムを起動します。

```
# pkgadd -d /tmp/print-drivers-solaris10-x86.pkg
```

5 利用可能なパッケージの一覧が表示されます。

- すべてのパッケージを表示するには、a11 と入力して **Enter** キーを押します。
- パッケージを個別にインストールするには、各パッケージ番号をカンマで区切って入力し、**Enter** キーを押します。

メモ: すべてのパッケージを同じ場所にインストールする必要があります。

6 画面に表示されるプロンプトに従って、質問が表示されたらそれに答えます。

- 標準設定のまま変更しない場合は、**Enter** キーを押します。
- yes または no で答える質問に対しては y、n、または ? と入力して **Enter** キーを押します。
- インストールが正常に済んだことを知らせるメッセージが表示されたら q を入力してインストールプログラムを終了します。

メモ: 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページを確認して、利用可能なソフトウェアプラグインがあるかどうか確認してください。詳細については、31 ページの「プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)」を参照してください。

プリンタドライバパッケージをインストールする場所

一部のオペレーティングシステムでは、プリンタドライバを特定のディレクトリにインストールする必要があります。このディレクトリが含まれるファイルシステムの空き容量が不足している場合は、容量に余裕のある別のファイルシステムの実際のディレクトリにリンクするシンボリックリンクを作成できます。オペレーティングシステムはシンボリックリンクを実際のディレクトリとして認識しますが、ファイルは実際には別のドライブにインストールされています。

1 パッケージを実際にインストールするディレクトリを作成します。

たとえば、/disk2 ファイルシステムにインストールする場合は、以下のように入力します。

```
# mkdir /disk2/lexmark
```

2 オペレーティングシステムがプリンタドライバのファイルを使用するディレクトリから、作成したディレクトリにリンクするシンボリックリンクを作成します。

たとえば、オペレーティングシステムが /opt/lexmark のファイルを使用する場合は、以下のように入力します。

```
# ln -s /disk2/lexmark /opt/lexmark
```

3 /disk2/lexmark フォルダにプリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバパッケージを削除する

システム管理者は、以下の表に示されているユーティリティを使用してプリンタドライバパッケージを削除できます。

使用しているオペレーティングシステムによっては、プログラムを起動した後に削除するプリンタドライバパッケージを指定して削除する場合があります。また、削除するプリンタドライバパッケージ名をコマンドラインに入力することもできます。詳細については、オペレーティングシステムに付属の説明書類を参照してください。

オペレーティングシステム	パッケージ削除ツール
HP-UX 11.31	smh
HP-UX 11.23(およびそれ以下)	sam
IBM AIX	smit
RedHat Linux	rpm -e
Linspire Linux Debian GNU/Linux	dpkg -r
Sun Solaris	pkgrm

- 1 Sun Solaris または HP-UX システムを使用している場合は、パッケージをアンインストールする前に、以下のユーティリティを実行し、**[削除]**を選択してメニューのリンクを削除してください。

```
# /usr/lexprint/bin/cde_menu_utility.sh
```

- 2 Sun Solaris を使用している場合は、アンインストールスクリプトを実行して、インストール時に作成したシンボリックリンクを削除してください。

メモ: パッケージを削除する前に、ファイルのリンクを解除する必要があります。

```
# /opt/lexmark/LEXPrtdrv.unlink
```

削除されなかったディレクトリを削除する

パッケージ削除ユーティリティは、通常、複数のパッケージで共有されているディレクトリを削除しません。すべてのプリンタドライバパッケージを削除した後に、いくつかのディレクトリを手動で削除しなければならない場合があります。

すべてのパッケージを削除した後にディレクトリが残っているかどうかを調べるには、プリンタドライバをインストールしたディレクトリを確認してください。標準では、プリンタドライバは以下のいずれかのディレクトリにインストールされます。

- Solaris
 - /opt/lexmark/unix_prt_drivers
 - /var/spool/lexmark/unix_prt_drivers
- HP-UX
 - /opt/lexmark/unix_prt_drivers
 - /usr/spool/lp/lexmark/unix_prt_drivers

- Linux

/usr/local/lexmark/unix_prt_drivers

/var/spool/lexmark/unix_prt_drivers

- AIX

/usr/lpp/lexprint

/var/spool/lexmark/unix_prt_drivers

メモ: 他のソフトウェアが、これらのディレクトリ

(/opt/lexmark、/usr/local/lexmark、/usr/spool/lp/lexmark、/var/spool/lexmark)のいずれかにインストールされている場合があります。追加のソフトウェアがこれらのディレクトリにインストールされている場合は、ディレクトリを削除しないでください。

タスクを実行する

プリンタドライバを開く

プリンタドライバには Windows のメニュー項目からアクセスできます。また、コマンドラインで以下のコマンドを入力して開くこともできます。

```
# lexprint
```

このプログラムには、ユーザーモードと管理モードという2つのモードがあります。管理者がプログラムを起動すると、通常は管理モードで起動しますが、コマンドラインで `lexprint -n` と入力すると、管理者もユーザーモードでプログラムを開くことができます。ユーザーモードで開くことで、管理者独自の個人設定でセッションを起動できます。

メモ: アプリケーションを「root」ユーザとして実行している場合、ユーザモードはサポートされません。

プリンタドライバのセットアップ

[Print Drivers Setup(プリンタドライバのセットアップ)]ダイアログでは、6つの基本的なオプションを設定できます。

メモ: プリンタドライバのセットアップでは、root ユーザのみ設定可能です。

インターフェイスでの設定が無理な場合は、コマンドラインでこれらのオプションを設定することもできます。

- /usr/local/lexmark/setup.lexprint
- /opt/lexmark/setup.lexprint
- /usr/lpp/lexprint/setup.lexprint

メモ: このコマンドの詳細についてはコマンドラインから `setup.lexprint -h` と入力してください。

管理グループ

管理グループ名を設定するには、このオプションを使用します(⇒16ページの「管理グループ名を変更する」)。

Web ブラウザ

プリンタドライバのヘルプファイルを表示するには、使用している Web ブラウザを指定する必要があります。

- 1 [ファイル] → [セットアップ]の順にクリックします。
- 2 [Web ブラウザ]をクリックします。
- 3 一覧から該当する Web ブラウザを選択します。Web ブラウザが一覧に表示されない場合は、Web ブラウザの場所へ移動します。
- 4 [次へ]をクリックします。

用紙サイズ

すべての印刷ジョブで使用する標準設定の用紙サイズを設定できます。

メモ: 標準設定の用紙サイズを変更しても、既存の印刷キューには影響しません。

- 1 [ファイル] → [セットアップ]の順にクリックします。
- 2 [用紙サイズ]をクリックします。
- 3 標準設定の用紙サイズを選択します。

メモ: 選択できるオプションは[A4]または[レター]のみです。選択しない場合は、[レター]が標準設定として使用されます。

- 4 [次へ]をクリックします。

デスクトップ統合

[デスクトップ統合]オプションを使用して、プリンタドライバをメニューバーに追加したり、削除したりできます。

- 1 [ファイル] → [セットアップ]の順にクリックします。
- 2 [デスクトップ統合]をクリックします。
- 3 使用するメニュー統合オプションを選択します。
- 4 [Next]をクリックします。

アジア言語ドライバ

アジア言語ドライバサポートを有効にすると、アジア言語用フォント DIMM を使用して印刷できます。

メモ: Linux でこのオプションを使用すると、アジア言語用フォント DIMM の有無に関係なく印刷できます。

アジア言語ドライバを使用するには、印刷ドライバのセットアップでアジア言語ドライバを有効にし、アジア向け機種用の印刷キューを作成する必要があります。

アジア言語ドライバを有効にするには、以下の手順に従います。

- 1 [ファイル] → [セットアップ]の順にクリックします。
- 2 [アジア言語ドライバ]をクリックします。
- 3 [アジア言語ドライバを有効にする]を選択します。
- 4 [Next]をクリックします。

アジア言語ドライバを使用して印刷キューを作成するときは、機種名にアジア言語を入力してプリンタを指定する必要があります(⇒18 ページの「印刷キューを作成する」)。

CUPS

CUPS を導入した Linux を使用している場合、印刷ジョブのフィルタリングを制御する MIME タイプによっては、印刷上の問題が発生する場合があります。ジョブを正しく印刷するには、印刷ジョブが適切にフィルタリングされるよう、この MIME タイプを取り外す必要があります。

- 1 [ファイル] → [セットアップ]の順にクリックします。
- 2 [CUPS]をクリックします。
- 3 [PCL ジョブフィルタリングを有効にする]を選択します。
- 4 [Next]をクリックします。

管理グループ名を変更する

プリンタドライバは、UNIX グループによって、キューを追加/削除する権限のあるユーザーと権限のないユーザーを区別します。

アプリケーションのセットアップ中に、管理グループ名を入力するように求められます。AIX を除くあらゆるシステムで、標準の管理グループは bin です。AIX の標準の管理グループは printq です。

管理グループ名を変更するには、以下のスクリプトのうち 1 つを実行します。

Linux

```
# /usr/local/lexmark/setup.lexprint
```

Solaris and HP-UX

```
# /opt/lexmark/setup.lexprint
```

IBM AIX

```
# /usr/lpp/lexprint/setup.lexprint
```

管理グループにユーザを追加または削除する

管理グループに属しているユーザは、許可を受けたユーザとしてプリンタドライバを開いて管理タスクを実行できます。管理グループに属していないユーザは、個人設定の変更とプリンタグループのメンテナンスのみ実行できます。ユーザの設定は、ユーザのホームディレクトリに保存されます。

ユーザを管理グループに追加するには、/etc/group ファイルにある管理グループにユーザ名を追加します。UNIX 管理グループ名の変更については、16 ページの「管理グループ名を変更する」を参照してください。

ユーザを管理グループから削除するには、UNIX グループからユーザ名を削除します。

仮想デバイスを作成する

仮想デバイスを作成する前に

仮想デバイスの作成前に、以下の情報について確認する必要があります。

- 仮想デバイスへの接続方法
- ネットワークプリンタの場合は、ホスト名または IP アドレスと SNMP コミュニティ名
- ローカルプリンタの場合は、接続の種類(パラレル、シリアル、USB)と物理デバイスファイル名

デバイスマネージャで仮想デバイスを作成する

- 1 プリンタドライバを開きます。
- 2 [Device Manager(デバイスマネージャ)]をクリックします。
- 3 [Add(追加)]をクリックします。
- 4 [Network Attached Printer(ネットワークに接続されているプリンタ)]または[Locally Attached Printer(ローカルに接続されているプリンタ)]をクリックします。
プリンタがローカルに接続されている場合は、17 ページの手順 5 に従います。プリンタがネットワークに接続されている場合は、17 ページの手順 6 に従います。
- 5 プリンタがローカルに接続されている場合：
 - a [Parallel(パラレル)]、[Serial(シリアル)]、[USB]のいずれかを選択します。
パラレル接続を使用している場合は、仮想デバイスが BPP デバイスかどうかを指定します。
シリアル接続を使用している場合は、[Serial Port Options(シリアルポートオプション)]を正確に指定します。
メモ: システムによっては、一部のオプションが表示されない場合があります。
 - b デバイス名と説明を入力します。
 - c 検出済みのデバイスの一覧から物理デバイスを選択するか、[Other(その他)]を選択して物理デバイスファイルのパスを入力します。
メモ: パスが分からない場合は、[Browse(参照)]をクリックしてファイルシステムでパスを指定します。
 - d [Finish(終了)]をクリックします。
- 6 プリンタがネットワークに接続されている場合：
 - a デバイス名と説明を入力します。
 - b IP アドレス/ホスト名を入力するか、[Search(検索)]をクリックして IP アドレスを検索します。
IP アドレス/ホスト名を入力した場合は、18 ページの手順 h に進みます。
[Search(検索)]をクリックして IP アドレスを取得する場合は、17 ページの手順 c に進みます。
 - c [Search Network Printer(ネットワークプリンタの検索)]ダイアログボックスで、サブネットまたは範囲を指定して検索します。
 - d 適切な IP アドレスまたはサブネットを入力します。
 - e [Search(検索)]をクリックします。
メモ: 検索機能により、IPv4 ネットワーク上のプリンタが検索されます。
 - f 一覧からデバイスを選択します。
 - g [OK]をクリックします。

タスクを実行する

- h** 必要に応じてオプションを変更します。
- i** **[Next(次へ)]**をクリックします。
- j** 外部プリントサーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力した場合は、該当するプリンタのポートを選択します。
- k** 表示される情報を確認します。
- l** **[Finish(終了)]**をクリックします。

コマンドラインから仮想デバイスを作成する

- 1 他のデバイスと区別できる、分かりやすい仮想デバイス名を選択します。
- 2 仮想デバイスを作成するには、コマンドラインで以下のように入力します。

物理デバイスの場合：

```
# /usr/lexprint/bin/mkdevice -d name -f device -t type
```

ネットワークデバイスの場合：

```
# /usr/lexprint/bin/mkdevice -d name -i host [-c name] [-p port] [-t type]
```

メモ： このコマンドの詳細については、コマンドラインから `mkdevice -h` と入力してください。

印刷キューを作成する

印刷キューの追加ウィザードで印刷キューを作成する

- 1 プリントドライバで、**[印刷キューの追加ウィザード]**をクリックします。
- 2 **[使用可能なデバイス]**の一覧からデバイスを選択するか、**[デバイスを追加]**をクリックして新しいデバイスを作成します。
デバイスの追加の詳細については、17 ページの「仮想デバイスを作成する」を参照してください。
- 3 **[Next]**をクリックします。
- 4 プリンタ名と説明を入力します。
- 5 プリンタの種類を選択します。
- 6 **[Next]**をクリックします。
- 7 キューで使用するプリンタ言語を選択します。
- 8 **[プロパティ]**をクリックして印刷キューの設定を変更します。
(⇒21 ページの「印刷キューのプロパティを変更する」)。
- 9 **[Next]**をクリックします。

10 印刷キューの作成を終了します。

- Sun Solaris、HP-UX、IBM AIX、または CUPS を導入した Linux を使用している場合、[キューのプリンタクラスを有効化]を選択してキューをクラスに登録します。
プリンタクラスの詳細については、22 ページの「プリンタクラスを操作する」を参照してください。
- LPRng 印刷サブシステムを導入した Linux を使用している場合は、[プリンタエイリアスを有効化]を選択してキューのエイリアスを作成します。
プリンタエイリアスの詳細については、21 ページの「プリンタエイリアスを操作する」を参照してください。

11 [Finish]をクリックします。

コマンドラインから印刷キューを作成する

1 キューを作成する前に、有効なデバイス名、プリンタの種類、プリンタ言語、標準の印刷キュー設定オプションを確認します。

a キューを作成する前に、印刷キューに関連付けるデバイス名を作成します。

- 以下のコマンドを実行して、定義済みの仮想デバイスの一覧を表示します。

```
# /usr/lexprint/bin/lsdevice -l
```

- デバイスが存在しない場合は、`mkdevice` コマンドを実行してデバイスを作成します。
詳細については、17 ページの「仮想デバイスを作成する」を参照してください。

b 以下のコマンドを実行して、サポートされるプリンタの種類と言語を表示します。

```
# /usr/lexprint/bin/supported_printers
```

`supported_printers` コマンドで表示した一覧で、お使いのプリンタの機種番号を含む行を確認します。

例:Lexmark T632 のキューを作成するとします。この場合、`supported_printers` コマンドで表示した一覧でこのプリンタに対応する次のような行を確認します: `Lexmark T632 10LT63x automatic`
プリンタの種類は「10LT63x」で、サポートされる言語は「automatic」です。

サポートされる言語について

- すべてのプリンタは、言語の種類として「raw」をサポートしています。この言語で印刷キューを作成すると、パススルーキューになります。つまり、キューを変更することなく印刷ジョブをプリンタに送信します。
- 言語の種類を「automatic」に設定すると、言語は `automatic`、`pcl`、`ps` のいずれかに設定できます。「automatic」を選択すると、PCL エミュレーション/ASCII 印刷ジョブと PostScript エミュレーション印刷ジョブの両方を印刷キューに送ることができます。
- 言語の種類を「Automatic Plus」に設定すると、言語は `automatic_plus`、`pcl`、`ps`、`iq` のいずれかに設定できます。「automatic_plus」を選択すると、PCL エミュレーション/ASCII 印刷ジョブ、PostScript エミュレーション印刷ジョブ、ImageQuick™(HTML、PDF、TIFF)印刷ジョブを印刷キューに送信できます。
- 言語の種類を「Automatic PDF」に設定すると、言語は `automatic_pdf`、`pcl`、`ps`、`pdf` のいずれかに設定できます。「automatic_pdf」を選択すると、PCL エミュレーション/ASCII 印刷ジョブ、PostScript エミュレーション印刷ジョブ、PDF 印刷ジョブを印刷キューに送信できます。
- 言語の種類が「pcl」の場合は、ASCII テキストまたは PCL エミュレーションジョブのみを印刷キューを使って送信できます。
- 言語の種類が「ps」の場合は、PostScript エミュレーションジョブのみを印刷キューを使って送信できます。
- 言語の種類が「ppds」の場合は、ASCII テキストまたは PPDS エミュレーションジョブのみを印刷キューを使って送信できます。
- 通常は「automatic」を選択します。

- c 使用できるプリンタ設定オプションは、`lsqueue_opts` コマンドを実行すると表示されます。19 ページの手順 b で確認したプリンタの種類を使用するには、以下のコマンドを実行します。

```
# /usr/lexprint/bin/lsqueue_opts -f printer_type
```

```
例:# /usr/lexprint/bin/lsqueue_opts -f 10LT63x
```

変更するオプションと値を確認し、`mkqueue` コマンドを `-o` 引数とともに渡します。

2 以下のコマンドを入力します。

```
# /usr/lexprint/bin/mkqueue -d device_name -q queue_name  
-p printer_type -l printer_language -o printer_options
```

メモ: このコマンドの詳細については、コマンドラインから `mkqueue -h` と入力してください。

例: 19 ページの手順 1 で確認した情報を使用して、仮想デバイス `mydevice` の新しい印刷キュー `myqueue` を作成するとします。この場合、キューのプリンタの種類は `10LT63x` で、言語は「`automatic`」に設定します。その他のプリンタオプションを指定します。2 番目のカセットの用紙を使用し、用紙の長辺で綴じるようにジョブを両面印刷します。

```
# /usr/lexprint/bin/mkqueue -d mydevice -q myqueue -p 10LT63x  
-l automatic -o "paper_tray=tray2 duplex=long_edge"
```

印刷キューの状態を変更する

印刷キューには 4 つの状態があります。

- **有効**—通常の動作状態です。キューのジョブは正常に処理されます。
- **無効**—印刷ジョブの処理を停止します。新しいジョブの送信は可能ですが、処理はされません。
- **受付中**—印刷ジョブをキューに送信できます。
- **拒否中**—印刷ジョブをキューに送信できません。

これらの状態は重複して発生する場合があります。たとえば、有効なキューがジョブを拒否する場合があります。

プリンタドライバは、アイコンビューでは印刷キューにアイコンを表示し、詳細ビューでは文字の色を変えて、状態を示します。

- 印刷キューに赤色の `[X]` が表示されている場合は、印刷キューがジョブを拒否している状態です。
- 印刷キューに黄色の `!` が表示されたら、印刷キューは無効になっています。

プリンタドライバで印刷キューの状態を変更するには、以下の手順に従います。

1 印刷キューを右クリックします。

2 該当する **[有効]** および **[受付中]** チェックボックスをオンまたはオフにします。

コマンドラインから印刷キューの状態を変更するには、以下のコマンドを入力します。

```
# /usr/lexprint/bin/chqueue -q myqueue -m accept|reject|enable|disable
```

メモ:

- 実行できるアクションは、「受付」、「拒否」、「有効」、「無効」のみです。コマンドを入力するときは、これらのアクションのうち 1 つを指定してください。
- このコマンドの詳細については、コマンドラインから `chqueue -h` と入力してください。

印刷キューのプロパティを変更する

- 1 プリンタドライバを開きます。
- 2 印刷キューアイコンを右クリックします。
- 3 該当するプロパティのメニュー項目を選択します。
- 4 設定を変更します。
- 5 [OK]をクリックします。

プロパティの変更方法によって、変更が適用される印刷ジョブが異なります。

- 通常ユーザとしてプリンタドライバを開いた場合、変更内容はホームディレクトリに保存され、印刷キューに送信するすべての印刷ジョブに変更内容が適用されます。プリンタアイコンには専用のアイコンが表示され、そのプロパティが個人用の印刷キュープロパティであることを示します。
- 管理者としてプリンタドライバを開いた場合、変更内容は、その印刷キューに対して個人プロパティを設定していないすべてのユーザに適用されます。
- [ファイルを印刷]または `lexlp` で設定を変更した場合、変更内容はその特定の印刷ジョブに対して適用されません。印刷キューに送信されるその他のジョブには適用されません。

メモ: アプリケーション設定は、印刷キューに設定したプロパティよりも優先されます。

プロパティのダイアログボックスには、特定の種類のプリンタで使用できるすべてのプロパティオプションが表示されます。ただし、プリンタによってはインストールされていないオプションもあります。プリンタでサポートしていないオプションを選択した場合、プリンタはその設定を無視します。

たとえば、[プリンタの種類]はオプションの両面印刷ユニットをサポートしますが、プリンタの両面印刷ユニットが接続されていないと、印刷ジョブは用紙の片面にしか印刷されません。

プリンタエイリアスを操作する

プリンタエイリアスについて

Linux でキューを作成する場合にプリンタエイリアスを使用すると、印刷キューの別名を使用できるようになります。たとえば、印刷キューの実際の名前が「Bldg_4_Room1」のときに、エイリアスではそのキューを「duplex」とできます。ユーザは、印刷するときに「Bldg_4_Room1」または「duplex」を印刷キュー名として使用できます。

メモ: プリンタエイリアスは、LPRng 印刷サブシステムが有効になっている Linux プラットフォームでのみサポートされます。キューのエイリアスを変更する場合は、印刷キューを作成しなおす必要があります。

エイリアスのある印刷キューを作成する

- 1 印刷キューの追加ウィザードの[プリンタエイリアス]画面を開きます。
- 2 [プリンタエイリアスを有効化]を選択します。
- 3 [エイリアス名]フィールドにエイリアスの名前を入力します。

印刷キューのエイリアスを表示する

印刷キューを右クリックし、[プリンタエイリアス]を選択します。

プリンタクラスを操作する

プリンタクラスについて

プリンタクラスを使用すると、複数のプリンタを 1 つのクラスにまとめることができます。プリンタクラスを設定しておくことで、特定のプリンタではなくプリンタのクラスで印刷できるようになります。印刷リソースがクラスでプールされるため、最初に利用可能なプリンタでジョブが処理され、すばやい印刷が可能になります。

メモ: プリンタクラスの使用は任意です。ユーザーにとって有益と思われる場合にのみ使用してください。

プリンタクラスを使用できるのは、Sun Solaris、HP-UX、IBM AIX、または CUPS を導入した Linux でキューを作成するときだけです。

プリンタクラスは、以下の 2 つの方法で表示できます。

- プリンタキューの追加ウィザードの最後の画面を使用する
- プリンタキューを右クリックして[プリンタクラス]を選択する

このプリンタをクラスに追加するには、[キューのプリンタクラスを有効化]を選択します。以下の 3 つのオプションがあります。

- 新しいクラスを作成する
- 既存のクラスを選択する
- 既存のクラスを削除する

キューを作成するときに、キューをクラスから削除することはできません。

プリンタキュークラスは、コマンドラインから変更や修正を行うこともできます。キューを新しいクラスや既存のクラスに追加するには、以下のコマンドを入力します。

```
# /usr/lexprint/bin/chqueue -q myqueue -c -a class1,class2
```

クラスからキューを削除するには、以下のコマンドを入力します。

```
# /usr/lexprint/bin/chqueue -q myqueue -c -r class1
```

メモ: 最後のキューをクラスから削除すると、クラスが自動的に削除されます。

クラスを作成する

- 1 [プリンタクラス]を表示します。
- 2 [新しいクラスを作成]を選択します。
- 3 新しいクラスの名前を入力します。

クラスに追加する

- 1 [プリンタクラス]を表示します。
- 2 既存のクラスの横にあるチェックボックスをオンにし、キューをそのクラスに関連付けます。

キューをクラスから削除する

- 1 [プリンタクラス]を表示します。
- 2 キューを削除するクラスの横にあるチェックボックスをオフにします。

メモ: すべてのキューをクラスから削除すると、クラスも削除されます。

プリンタグループを管理する

プリンタグループを使用すると、UNIX システムで利用できる印刷キューから一部の印刷キューをグループ化して選択できます。[グループマネージャ]ツールを使用して、印刷キューをグループに追加したり、グループから削除したりできます。

プリンタグループを作成する

プリンタグループは、グループマネージャツールを使用して作成できます。新規グループマネージャのダイアログボックスを表示するには、[すべてのプリンタ]を右クリックして[新しいグループ]を選択します。

- 1 [グループ名]フィールドにグループ名を入力します。
- 2 [使用可能な印刷キュー]欄でグループに追加する印刷キューを選択します。
- 3 **➤**をクリックして、印刷キューを[選択された印刷キュー]欄に追加します。**➤➤**をクリックして、すべてのキューを[選択された印刷キュー]欄に移動します。
- 4 [OK]をクリックします。

メモ: [選択された印刷キュー]欄から印刷キューを削除するには、削除する印刷キューを選択して、**⏪**をクリックします。

印刷キューを[マイプリンタ]やその他のプリンタグループに追加する

印刷キューは、メインウィンドウからプリンタグループにプリンタをドラッグしたり、グループマネージャツールを使用することで、[マイプリンタ]やその他のプリンタグループに追加できます。

- 1 グループ名を右クリックし、[グループマネージャ]を選択します。
- 2 [使用可能な印刷キュー]でグループに追加する印刷キューを選択します。
- 3 **➤**をクリックして印刷キューをグループに追加します。

メモ: [選択された印刷キュー]欄から印刷キューを削除するには、削除する印刷キューを選択して **⏪** をクリックします。

プリンタグループを削除する

特定の 1 つのグループを削除するには

- 1 グループ名を右クリックします。
- 2 [削除]をクリックします。

複数のグループを削除するには

- 1 [すべてのプリンタ]を右クリックします。
- 2 [グループを削除]を選択します。
- 3 削除するグループを選択します。
- 4 [削除]をクリックします。

メモ: [マイプリンタ]グループや[すべてのプリンタ]グループは削除できません。

コマンドラインから印刷する

コマンドラインから印刷する場合は、さまざまな方法があります。

- 印刷キューの標準設定を使用して印刷する。
Sun Solaris、HP-UX、IBM AIX、または CUPS を導入した Linux から印刷する場合は、以下のように入力します。

```
# lp -d queue_name file_name
```

LPRng 印刷サブシステムを導入した Linux から印刷する場合は、以下のように入力します。

```
# lpr -P -queue_name file_name
```

- プロパティ画面で選択した印刷キュープロパティの設定を変更して印刷する。

- 1 コマンドラインから以下のように入力します。

```
# lexlp -d queue_name file_name
```

- 2 必要に応じて設定を変更します。

- 3 [OK]をクリックします。

- コマンドラインから入力したプロパティの設定を変更して印刷できます。

- 1 以下のコマンドを入力して、現在のプロパティの一覧を表示します。

```
# /usr/lexprint/bin/lsqueue_opts -q queue_name
```

- 2 変更したいプロパティの名前と変更できる値を確認します。

- 3 プロパティを変更するコマンドを入力します。

- 4 Sun Solaris、HP-UX、IBM AIX、または CUPS を導入した Linux から印刷する場合は、以下のコマンドを使用してプロパティを変更します。

```
# lp -d queue_name -o property_name=property_value file_name
```

LPRng 印刷サブシステムを導入した Linux から印刷する場合は、以下のコマンドを使用してプロパティを変更します。

```
# lpr -P queue_name -C "lexopts:property_name=property_value"  
file_name
```

例: 片面印刷しか設定されていない印刷キュー (lab_printer) で、両面印刷する必要があるとします。この場合、コマンドラインで変更内容を指定できます。

- 1 使用する機能(この場合は両面印刷)を印刷キューがサポートしていることを確認し、適切なコマンドを以下のように入力します。

```
# /usr/lexprint/bin/lsqueue_opts -q lab_printer
```

タスクを実行する

以下の内容が画面に表示されます。

両面印刷 none (default)
short_edge
long_edge
printer setting

2 両面印刷を制御するプロパティ名と値を確認します。この例では、`duplex=long_edge` を使用します。

3 Sun Solaris、HP-UX、IBM AIX、または CUPS を導入した Linux から印刷する場合は、以下のように入力します。

```
# lp -d lab_printer -o duplex=long_edge my_report.ps
```

LPRng 印刷サブシステムを使用した Linux から印刷する場合は、以下のように入力します。

```
# lpr -P lab_printer -C "lexopts:duplex=long_edge" my_report.ps
```

ファイルを印刷する

1 印刷キューを右クリックし、メニューから[ファイルを印刷]を選択します。

2 参照ダイアログからファイルを選択します。

3 このジョブに限って印刷設定を変更する場合は、[基本設定]をクリックします。

メモ: この方法では、プリンタが Direct Image、ImageQuick カード SIMM をサポートしている場合を除き、PostScript、PCL エミュレーション、ASCII テキストファイルしか印刷できません。

4 [ファイルを印刷]をクリックします。

テストページを印刷する

テストページを印刷すると、ジョブが印刷キュー経由で送信され、キューが正常に機能しているかどうかを確認できます。テストページには、キュー名、デバイス名、プリンタの種類などの情報が記載されます。

1 印刷キューアイコンを右クリックします。

2 [テストページを印刷]を選択します。

両面印刷ジョブを印刷する

両面印刷とは、用紙の両面に印刷することです。用紙の両面に印刷するには、プリンタにオプションの両面印刷ユニットを取り付ける必要があります。このオプションがサポートされているかどうかについては、プリンタに付属の説明書類を参照してください。

プリンタにオプションの両面印刷ユニットを取り付けてある場合は、[両面印刷]オプションから綴じ端を選択することで両面印刷を行うことができます。

[長辺]を選択すると、雑誌のページをめくるように用紙の両面に印刷されます。[短辺]を選択すると、レポート用紙のページをめくるように用紙の両面に印刷されます。

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

複数ページ印刷オプションを使用すると、1 枚の用紙に複数のページを並べて印刷できます。用紙に複数のページを並べる方向と、各ページを境界線で区切るかどうかを指定できます。選択する際、右にある図に選択中のレイアウトが表示されます。

- 1 プロパティのダイアログボックスで、[セットアップ]をクリックします。
- 2 1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
- 3 [OK]をクリックします。

メモ: プリンタによっては、複数ページ機能がサポートされていない場合があります。この機能がサポートされているかどうかについては、プリンタに付属の説明書類を参照してください。

ドキュメントを複数部印刷する

[部数]オプションを使用して、ドキュメントを複数部一度に印刷できます。[セットアップ]タブの[部数]ボックスは、一部のプログラムの印刷ダイアログボックスにある部数オプションとは独立して機能します。通常は、[セットアップ]タブよりプログラムの設定の方が優先されます。

通常は、[セットアップ]タブで部数を指定した方が、丁合しない印刷は速く完了します。複数部の印刷を[セットアップ]タブとアプリケーションの印刷ダイアログボックスの両方で指定すると、予期せぬ結果になることがあります。

- 1 プロパティのダイアログボックスで、[セットアップ]をクリックします。
- 2 印刷部数を入力します。
- 3 [OK]をクリックします。

部単位印刷

標準では、複数部を印刷する場合に部単位印刷は行われません。1 ページ目のすべての部数が印刷されてから、2 ページ目のすべての部数が印刷され、3 ページ目以降も同様に印刷されます。部単位印刷する場合は、[部単位印刷]チェックボックスをオンにします。この場合は、指定した部数がページ順に印刷されます(1 ページ、2 ページの順で 1 部ずつ印刷することを指定部数だけ繰り返します)。

メモ: プリンタのメモリ不足が原因で大量のドキュメントを丁合できない場合は、まずドキュメントの一部のページが部単位で印刷されます。次に、残りのページが部単位で印刷されます。

印刷ジョブの印刷方向を変更する

印刷キューのプロパティのダイアログボックスで、ドキュメントの印刷方向を指定できます。

- ドキュメントの高さが幅より大きい場合は、[縦]を選択します。
- ドキュメントの幅が高さより大きい場合は、[横]を選択します。
- ドキュメントを 180 度回転する場合は、[逆横]または[逆縦]を選択します。これで、ドキュメントが「上下逆」に印刷されます。
- プリンタで印刷方向を自動的に設定する場合は、[プリンタ設定]を選択します。

メモ: これらの設定は PCL エミュレーションプリンタ言語でのみサポートされます。

1 ページあたりの行数を変更する

アプリケーションによっては、ページ設定機能や印刷設定機能がない場合や、1枚の用紙に印刷する行数を変更できない場合があります。印刷キューの PCL エミュレーションのプロパティで、1 ページに印刷する行数または 1 インチに印刷する行数を変更できます。

- 1 印刷キューのプロパティを開きます。
(⇒21 ページの「印刷キューのプロパティを変更する」)。
- 2 [ページレイアウト]をクリックします。
- 3 [1 ページ当りの行数]の値を変更します。
- 4 [1 インチ当りの行数]の値を変更します。
- 5 [OK]をクリックします。

メモ:

- この機能は、PCL エミュレーションプリンタ言語のみでサポートされます。
- [1 ページ当りの行数]と[1 インチ当りの行数]は連動しています。
- [66 行/ページ]を選択すると、[1 ページ当りの行数]と[1 インチ当りの行数]の設定が無効になり、レターサイズの用紙 1 枚に 66 行印刷できます。

テキストファイルを印刷するときの印刷可能領域を定義する

- 1 印刷キューのプロパティを開きます。
- 2 [ページレイアウト]をクリックします。
- 3 [ページレイアウト]ダイアログボックスで、テキストボックスの横にある  をクリックして、余白のサイズ、インデント、ページ幅を選択します。
- 4 行が印刷領域の余白に達したときに行を折り返す場合は、[行折り返し]を選択します。
- 5 改行マークで改行する場合は、[自動 CR]を選択します。この機能は、主に UNIX ユーザが ASCII テキストの印刷問題を修正する場合に使用します。
- 6 印刷ジョブの用紙の向きを選択します。
- 7 [OK]をクリックします。

メモ: これらの設定は PCL エミュレーションプリンタ言語でのみサポートされます。

[印刷して保持]設定を使用する

ジョブをプリンタに送信するときに、プリンタドライバを使用してプリンタのメモリにジョブを保持することができます。ジョブを印刷する準備ができたなら、プリンタの操作パネルメニューで、印刷する保持ジョブを選択します。

- 1 印刷キューのプロパティを開きます。
詳細については、21 ページの「印刷キューのプロパティを変更する」を参照してください。
- 2 [印刷して保持]をクリックします。

3 適用する印刷と保持の設定を選択します。

- 印刷ジョブを保持しない場合は、[オフ]にします。
- 操作パネルから暗証番号(PIN)が入力されるまでプリンタのバッファにジョブを保持する場合は、[コンフィデンシャル]を選択します。プリンタドライバには、標準設定の PIN があります。この PIN は、[印刷して保持]オプションの右側にある[ジョブ情報]に表示されます。PIN は 4 桁の数字です。PIN を使用することで、印刷準備が整うまでジョブが印刷されないようにできます。また、同じプリンタを使用している第三者がこのジョブを印刷できないようになります。
- [確認]を選択すると、1 部が印刷され、残りの全部数がプリンタメモリに格納されます。全部数を印刷する前に最初の 1 部のみを印刷して確認する場合などに選択します。確認印刷ジョブは、全部数を印刷するとプリンタメモリから削除されます。
- [繰り返し]を選択すると、指定した部数だけ印刷ジョブが印刷され、あとで追加の部数を印刷できるようにジョブがメモリに格納されます。ジョブがメモリに格納されている間は、追加の部数を印刷することができます。
- ジョブをすぐに印刷する予定がなく、あとで印刷できるようにメモリに格納する場合は、[予約]を選択します。[保持されたジョブ]メニューでジョブを削除するまで、ジョブはメモリに格納されます。

メモ: 保持されたジョブを新たに処理するために追加のメモリが必要となる場合、予約印刷ジョブと繰り返し印刷ジョブが削除されることがあります。

4 [OK]をクリックします。

Sun Solaris、HP-UX、IBM AIX システム、または CUPS システムを導入した Linux のコマンドラインから保持機能の秘密印刷を使用するには、以下のように入力します。

```
# lp -d queue_name -o print_hold=confidential -o pin_no=pin file_name
```

LPRng システムを導入した Linux のコマンドラインから保持機能の秘密印刷を使用するには、以下のように入力します。

```
# lpr -P queue_name -C "lexopts:print_hold=confidential pin_no=pin" file_name
```

メモ: 一部のプリンタでは、[印刷して保持]機能がサポートされません。確認するには、プリンタの説明書類を参照してください。

カスタムバナーページを作成する

印刷キューからカスタムのバナーページを生成するプログラムを記述できます。カスタムバナーページを作成してもプリンタの管理は自動化されませんが、プリンタでの印刷ジョブの検索が容易になります。

バナープログラムを記述する

7 つの固定引数を使用して、バナーページを標準出力 (stdout) で印刷するプログラムを記述することで、キューに対応したユーザー定義バナーページを作成できます。7 つのバナープログラム引数は以下のとおりです。

- file
- user
- host
- queue
- message
- paper
- locale

タスクを実行する

引数はすべて文字列です。スペースを含む場合は二重引用符(" ")で囲む必要があります。

バナープログラムによるデータ出力は、選択したプリンタエミュレーションで読み取れる形式で出力する必要があります。たとえば、PCL エミュレーションバナープログラムでは、有効な PCL エミュレーションデータを生成する必要があります。

バナープログラムを使用する

ユーザ定義バナープログラムを記述した場合、印刷キューがそのプログラムを使用するように設定する必要があります。

- 1 印刷キューのプロパティを開きます。
(⇒21 ページの「印刷キューのプロパティを変更する」)。
- 2 [バナー]をクリックします。
- 3 [標準バナー]チェックボックスをオフにします。
- 4 バナープログラムの名前を入力するか、[参照]をクリックしてファイル名を選択します。
- 5 バナーページオプションで、必要に応じて用紙サイズ、給紙カセット、用紙のタイプなどを変更します。
- 6 [OK]をクリックします。

仮想デバイスを変更する

- 1 [デバイスマネージャ]をクリックします。
- 2 変更する仮想デバイスを選択します。
- 3 [プロパティ]をクリックします。
- 4 必要に応じて変更します。
- 5 [OK]をクリックします。

メモ:

- コマンドラインから仮想デバイスを変更することはできません。
- 仮想デバイスの作成後にデバイスの種類を変更することはできません。種類を変更するには、作成したデバイスを削除して作成しなおす必要があります。

仮想デバイスを削除する

- 1 [デバイスマネージャ]をクリックします。
- 2 削除する仮想デバイスを選択します。
- 3 [削除]をクリックします。

メモ: 印刷キューが仮想デバイスに関連付けられている場合、その仮想デバイスは削除できません。キューが関連付けられているデバイスを削除しようとする、通知メッセージが表示されます。

以下のコマンドを使用して、仮想デバイスをコマンドラインから削除することもできます。

```
# /usr/lexprint/bin/rmdevice -d device_name
```

タスクを実行する

別のプリンタで印刷するように印刷キューを変更する

- 1 プリンタドライバを開きます。
- 2 印刷キューアイコンを右クリックします。
- 3 **[デバイスを変更]**を選択します。
- 4 デバイスマネージャのテーブルでデバイスを選択します。
お使いのプリンタがテーブルに表示されていない場合は、**[デバイスを追加]**をクリックして新しい仮想デバイスを作成します。
- 5 **[OK]**をクリックします。

メモ: コマンドラインでは、印刷キューの仮想デバイスは変更できません。

印刷キューを削除する

アイコンビューから

- 1 削除するプリンタのアイコンを右クリックします。
- 2 **[削除]**を選択します。

詳細ビューから

- 1 表示されている印刷キューの一覧から削除するキューを選択します(複数可)。
- 2 右クリックして**[削除]**を選択します。

プリンタドライバから

- 1 **[印刷キューの削除]**をクリックします。
- 2 削除する印刷キューを選択します。
- 3 **[削除]**をクリックします。

メモ: キューはアイドル状態でないと削除できません。使用中のキューを削除しようとすると、通知メッセージが表示されます。

印刷キューはコマンドラインから削除することもできます。印刷キューを削除するには、以下のコマンドを入力します。

```
# /usr/lexprint/bin/rmqueue -q queue_name
```

プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)

プラグインマネージャユーティリティを使用する

新しいプラグインをダウンロードしてインストールすることで、デバイスサポートを追加できます。プラグインマネージャユーティリティは、プリンタドライバまたはコマンドラインから実行できます。

メモ: 必要なプリンタドライバが標準パッケージに含まれていないことがあります。ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページで、お使いのプリンタで利用可能なプラグインがあるかどうかを確認してください。

- プリンタドライバからユーティリティにアクセスするには、[ファイル] → [ソフトウェアの更新] をクリックします。
- コマンドラインからユーティリティにアクセスするには、以下のコマンドを入力します。

```
# /usr/lexprint/bin/plugin_manager
```

プラグインマネージャユーティリティは、現在インストールされているすべてのプラグインの一覧を表示します。プラグインが 1 つも表示されない場合は、次のホームページから最新のデバイスサポートをダウンロードできます。

<http://downloads.lexmark.com>

プリンタドライバからプラグインをインストールする

1 [ファイル] → [ソフトウェアの更新] をクリックします。

2 [インストール] を選択します。

3 ディレクトリからプラグインを選択します。

確認ダイアログが表示されます。選択したプラグインに関する詳細な情報が表示され、インストールを続行するかどうかを選択できます。

4 画面に表示される指示に従い、インストールを完了します。

インストールの終了後、変更を適用するためにアプリケーションの再起動が必要になる場合があります。

プリンタドライバからプラグインを削除する

[削除] オプションを使用して、選択したプラグインをアンインストールできます。

1 [ファイル] → [ソフトウェアの更新] をクリックします。

2 アンインストールするプラグインをリストから選択します。

3 [削除] を選択します。

変更を適用するには、アプリケーションを再起動する必要があります。

コマンドラインからプラグインマネージャユーティリティを使用する

プラグインのインストール、一覧表示、削除は、スクリプトで実行できます。プラグインはコマンドラインから管理できます。

プラグインをインストールする

```
# /usr/lexprint/bin/plugin_manager -i plugin_file
```

タスクを実行する

インストールされているプラグインを表示する

```
# /usr/lexprint/bin/plugin_manager -l
```

プラグインを削除する

```
# /usr/lexprint/bin/plugin_manager -r plugin_name
```

よくある質問(FAQ)

コマンドライン

印刷キューのコマンドラインオプションの確認方法は？

コマンドラインプログラム `lsqueue_opts` を使用すると、該当するキューで使用可能なオプションの一覧が表示されます。

詳細については、24 ページの「コマンドラインから印刷する」を参照してください。

コマンドラインから印刷キューを作成できますか？

仮想デバイスと印刷キューの両方をコマンドラインから作成および削除できます。

詳細については、17 ページの「仮想デバイスを作成する」および 18 ページの「印刷キューを作成する」を参照してください。

コマンドラインサブミッション GUI とはどのようなもので、それはどのように機能しますか？

コマンドラインから印刷する際に `lp` と入力する代わりに `lexlp` と入力することで、コマンドラインサブミッション GUI にアクセスできます。`lexlp` を使用すると、印刷キューのプロパティのダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、ジョブを印刷する前にこの特定の印刷ジョブの印刷プロパティをカスタム化(ユーザー定義)できます。

詳細については、24 ページの「コマンドラインから印刷する」を参照してください。

メモ: `lexlp` は、Mozilla などのアプリケーションでも使用できます。既存の `lp` コマンドを `lexlp` コマンドで置き換えます。

印刷キューの管理

アイコンビューで、プリンタに表示されている特殊なアイコンの意味は？

印刷キューに以下のいずれかのアイコンが表示されることがあります。

- [X] は、印刷キューが印刷ジョブを拒否していることを示します。詳細ビューにキューが赤で表示されます。
- [!] は、印刷キューが無効になっていることを示します。無効になっているキューは、印刷ジョブを引き続き受け付けます。これらのジョブはキューに保存されますが、印刷されません。詳細ビューにキューが黄色で表示されます。

メモ: 無効になっているキューが印刷ジョブを受け付けるのと同様、有効になっているキューが印刷ジョブを拒否することもあります。

- 人の形のアイコンは、ユーザ定義の設定を示します。詳細ビューの[プリンタ設定]列にチェックマークが表示されます。

印刷に使用していた印刷キューが表示されなくなりました。なぜでしょうか？

管理者が印刷キューを削除した可能性があります。別のキューで印刷するか、管理者に問い合わせてください。

印刷キューを追加または削除できません。なぜでしょうか？

通常のユーザ権限しか持っていないと思われます。キューを追加または削除できるのは管理者だけです。

印刷キューを追加または削除するのに root のパスワードは必要ですか？

いいえ、必要ありません。ただし、管理者アカウントでプリンタドライバを開く必要があります。

印刷キューを有効または無効にする方法は？

印刷キューを有効にするには、以下の手順に従います。

- 1 管理者アカウントでプリンタドライバを開きます。
- 2 メインウィンドウで、印刷キューアイコンを右クリックします。
- 3 [有効]チェックボックスをオンにします。

印刷キューを無効にするには、以下の手順に従います。

- 1 管理者アカウントでプリンタドライバを開きます。
- 2 メインウィンドウで、印刷キューアイコンを右クリックします。
- 3 [有効]チェックボックスをオフにします。

一般ユーザまたは管理者

プリンタドライバを起動したときに、一部のツールバーアイコンが使用できず、一部のオプションが表示されない理由は何ですか？

プリンタドライバには、ユーザモードおよび管理者モードの 2 つのアクセスレベルがあります。使用できないアイコンや表示されないアイコンは、一般ユーザがアクセスできない管理オプションを表しています。これにより、プリントサブシステムが保護されると同時に、各ユーザが独自の印刷キュー設定を行うことができます。管理者権限が必要な場合は、管理者にお問い合わせください。

ユーザ設定およびシステム設定とはどのようなもので、それらはどのように機能しますか？

一般ユーザとしてプリンタドライバを開き、特定のキューの設定を変更すると、そのキューの新しい設定が作成されます。これらの設定は、ユーザ独自の設定として各ユーザのホームディレクトリに格納されます。ユーザが管理者としてログインし、特定のキューを変更した場合、変更内容はすべてのユーザに適用されます。影響を受けない設定は、管理者がシステム設定を変更する前に作成されたユーザ設定だけです。プリンタドライバは、システム設定を適用する前に、ユーザ設定が存在するかどうかを常に確認します。

一般ユーザを管理者にする方法は？

システム管理者がユーザを管理者グループに追加します。

詳細については、16 ページの「管理グループにユーザを追加または削除する」を参照してください。

プログラムまたはキューの標準設定

一般ユーザであり、キューを追加または削除する権限を持っていませんが、キューの設定(両面印刷、給紙カセットなど)を変更することはできますか？

はい、特定の印刷キューの設定を変更できます。また、それらの設定は各自のホームアカウントに保存されます。1 つの印刷ジョブの設定を変更することもできます。

キューの設定を変更しても、別のユーザーが同じホスト上の同じキューで印刷した場合に設定が異なるのはなぜですか？

あるユーザーが印刷キューのユーザ設定を作成した場合でも、印刷キューのユーザ設定を作成していないユーザーにはシステム設定が適用されます。ユーザ設定を作成していないユーザーは、プリンタドライバを開いて各自のユーザ設定を変更する必要があります。

[マイプリンタ]を標準のグループにすることはできますか？

いいえ。

関連項目

仮想デバイスのネットワークオプションとはどのようなもので、それらはどのように機能しますか？

ネットワークデバイスを追加する際には、[管理者ユーザ ID]、[ログファイル名]、[ユーザのプリンタ介入情報]、[管理者のプリンタ介入情報]などのオプションを設定できます。

- [管理者ユーザ ID]には、プリンタ操作情報を受け取るシステム管理者の ID を指定します。
- [ログファイル名]には、ログファイルの場所と名前を指定します。
- [ユーザのプリンタ介入情報]および[管理者のプリンタ介入情報]では、プリンタドライバが重要な情報を現在のユーザ(エラー状態になったときにジョブを送信したユーザ)および管理者([管理者ユーザ ID]フィールドに表示されている管理者)と通信する方法を選択します。

プリンタクラスとはどのようなもので、それらはどのように機能しますか？

プリンタクラスを使用できるのは、Sun Solaris、HP-UX、CUPS を導入した Linux、または IBM AIX でキューを作成するときだけです。プリンタのクラスを有効にしてプリンタをクラスに追加すると、印刷ジョブを処理しているプリンタに新しいジョブが到着した場合に、新しいジョブはそのクラス内の別のプリンタで印刷されるようになります。

(⇒22 ページの「プリンタクラスを操作する」)。

プリンタグループとはどのようなものですか？

プリンタグループは、ユーザが管理しやすいように印刷キューを整理するための方法です。プリンタドライバには、[すべてのプリンタ]と[マイプリンタ]という 2 種類の標準のプリンタグループがあります。[マイプリンタ]は[すべてのプリンタ]のサブセットで、大規模なネットワークに接続されているシステムで利用可能なプリンタのうち、ユーザが選択したものが含まれます。

ウィンドウ左側のツリー上での[すべてのプリンタ]と[マイプリンタ]の違いは？

[すべてのプリンタ]は、システム上で利用可能なすべての印刷キューの一覧です。[マイプリンタ]は[すべてのプリンタ]のサブセットであり、ユーザが決定します。

印刷キューアイコンを右クリックすると一部のプリンタ用のホームページが表示されます。他のプリンタ用のページが表示されないのはなぜですか？

ネットワークに接続されているプリンタのページだけが表示されます。パラレル、シリアル、または USB で接続されているプリンタのページは表示されません。

印刷キューの作成後にプリンタの種類を変更することはできますか？

いいえ。適切なプリンタの種類を指定してキューを作成しなおす必要があります。

トラブルシューティング

印刷キューは空になっているが、自分のドキュメントが印刷されなかった

適切なデータをプリンタに送信したことを確認してください。PCL エミュレーションまたはテキストデータを PostScript データだけを受け付けるキューに送信した場合、ジョブはキューから出力されますが、印刷はされません。別のキューで印刷してみるか、管理者に他の印刷オプションについて問い合わせてください。

印刷ジョブは、おそらくプリントサーバまたはプリンタのバッファ内にあります。プリンタが使用可能になるとすぐに、ジョブが印刷されます。

- 印刷ジョブを正しいプリンタ仮想デバイスに送信していることを確認します。
- 仮想デバイスのプロパティを調べて、印刷ジョブが正しいプリンタに送信されていることを確認します。
- プリンタが正しく動作していることを確認します。

ジョブが印刷キューに長時間表示される

- プリンタが他のジョブの受信でビジー状態になっている可能性があります。プリントサーバを使用している場合は、この状態になったときにプリンタの点検を求めるメッセージが表示されます。
- 印刷キューの状態を確認します。キューが有効になっていることを確認してください。
- プリンタの接続を確認します。

ネットワーク経由でプリンタに接続している場合	<ul style="list-style-type: none">- 仮想デバイスで適切なデバイスが選択されていることを確認します。- 「39 ページの「プリンタドライバがネットワークプリンタを見つけることができない」を参照します。- 印刷ユーティリティを使用して、プリンタに直接印刷してみます。 例:<code>send_network -f /etc/hosts hostname</code> <code>hostname</code> には、プリンタの適切なホスト名を指定します。これで印刷できた場合は、仮想デバイスと印刷キューを再作成します。- <code>lpsched</code> または <code>lpd</code> プロセスを再起動します。- オペレーティングシステムの説明書類を参照します。
プリンタにローカル接続している場合	<ul style="list-style-type: none">- 仮想デバイスで適切なデバイスが選択されていることを確認します。- パラレルケーブル、シリアルケーブル、または USB ケーブルが機能していることと、両端が確実に接続されていることを確認します。- シリアルケーブル経由で印刷している場合は、仮想デバイスのシリアル設定がプリンタと一致していることを確認します。

Sun Solaris SPARC システムを使用している場合	<ul style="list-style-type: none"> - パラレルデバイスの種類が <code>bpp</code> であるかどうかを確認します。そうである場合は、<code>bpp</code> デバイスが選択されていることを確認します。そうでない場合は、<code>bpp</code> デバイスが選択されていないことを確認します。 - 印刷ユーティリティを使用して、プリンタに直接印刷してみます。 例:<code>send_parallel -f /etc/hosts /dev/lp0</code> <code>/dev/lp0</code> には、適切なデバイスファイル名を指定します。これで正常に印刷される場合は、仮想デバイスと印刷キューを再作成します。 - サーバとプリンタ(または印刷キュー)の間の通信に問題があるかどうかを確認するため、デバイスに直接印刷してみます。 例:<code>cat /etc/hosts >> /dev/lp0</code> <code>/dev/lp0</code> には、適切なデバイスファイル名を指定します。これで正常に印刷される場合は、仮想デバイスと印刷キューを再作成します。印刷されない場合、問題はデバイス、ケーブル、またはプリンタのいずれかにあります。 - <code>lpsched</code> または <code>lpd</code> プロセスを再起動します。 - オペレーティングシステムの説明書類を参照します。
---------------------------------	---

印刷キューが印刷ジョブを受け付けない

- キューが拒否状態になっています。キューがこの状態になっている場合、印刷ジョブを印刷キューに送信することはできません。キューがジョブを受け付けるようにするには、キューアイコンを右クリックして、[受付中]を選択します。
- 印刷キューを再作成します。
- `lpsched` または `lpd` プロセスを再起動します。

印刷キューが無効になっているかダウンしている

- プリンタが(パラレルケーブル、シリアルケーブル、または USB ケーブルで)ローカル接続されている場合は、プリンタケーブルを確認します。
- プリンタをネットワークに接続している場合は、プリントサーバで以下のことを確認します。

内蔵プリントサーバを使用している場合	<ul style="list-style-type: none"> - プrintサーバが正しくインストールされていて有効になっていることを確認します。これを確認するには、プリンタの設定ページを印刷します。Printサーバがセットアップページの接続状態の一覧に表示されます。 - 操作パネルにネットワーク関連のメッセージが表示された場合は、40 ページの「その他の問題」を参照してください。 - Printサーバで TCP/IP が有効になっていることを確認します。Printサーバとプリンタドライバを機能させるためには、このプロトコルが有効になっている必要があります。TCP/IP はプリンタの操作パネルで有効にできます。 詳細については、Printサーバの説明書類を参照してください。
--------------------	--

外付けプリントサーバを使用している場合

- プリントサーバのランプを確認します。
詳細については、プリントサーバの説明書類を参照してください。
- プリントサーバから設定ページを印刷します。
詳細については、プリントサーバの説明書類を参照してください。

- プリンタがネットワークに接続されている場合は、プリントサーバを PING します。
 - PING が機能した場合は、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイが正しいことを確認します。プリンタの電源をオフにし、再度 PING して IP アドレスが重複していないことを確認します。
 - PING が機能しない場合は、印刷した設定ページで IP が有効になっていることを確認します。
 - TCP/IP が有効である場合は、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイが正しいことを確認します。
 - ブリッジとルーターが正しく機能していることを確認します。
 - プリントサーバ、プリンタ、ネットワーク間の物理接続が機能していることを確認します。
- プリンタがネットワークに接続されている場合は、プリントサーバの IP アドレスと、ネームサーバまたは /etc/hosts ファイルに格納されているネットワークプリンタ用のアドレスが一致していることを確認します。アドレスが一致していない場合は、/etc/hosts ファイルを編集するか、ネームサーバを更新して、アドレスを訂正します。
- プリントサーバから設定ページを印刷します。

設定ページの印刷については、プリントサーバの説明書類を参照してください。

 - ページが印刷された場合は、プリントサーバとプリンタ間の接続は正しく機能しています。
 - ページが印刷されない場合は、すべての物理接続を確認します。
 - 問題を解決してから、印刷キューが有効になっていて、ジョブを受け付ける状態になっていることを確認します。
 - プリンタドライバでキューを再度有効にします。
 - キューからすべての印刷ジョブを削除して、キューを再度有効にします。
 - キューで仮想デバイスの選択状態を確認します。
 - 新しい仮想デバイスを作成し、新しく構成した仮想デバイスを指定するようにキューを変更します。
 - `lpsched` プロセスまたは `lpd` プロセスを再起動します。
- プリンタの再起動後、CUPS がさまざまなシステムや印刷ファイルにアクセスしようとしても、SELinux によって拒否される場合があります。この問題は、適切な SELinux ポリシーを作成するか、CUPS に対して SELinux を無効にすることで解決できます。

Java GUI が起動しない

- Red Hat Enterprise Linux 5 を使用している場合は、RHEL 5 インストール CD 2 から `libXp.rpm` をインストールします。
- openSUSE 10.3 を使用して `Assertion 'c->xlib.lock' failed` エラーが発生した場合は、<http://en.opensuse.org/Xlib.lock> のトラブルシューティング情報を参照してください。

印刷キューに送信したファイルが正常に印刷されない

PCL エミュレーション、PostScript エミュレーション、Automatic、Automatic Plus、Automatic PDF、raw データ用のキューを作成できます。

- Automatic キューは、PCL エミュレーションデータと PS エミュレーションデータの両方をサポートしています。
- Automatic Plus キューは、PCL エミュレーションデータと PS エミュレーションデータに加えて、ImageQuick データ(HTML、PDF、TIFF、BMP など)もサポートしています。

メモ: Automatic Plus データ用のキューは、Direct Image データまたは ImageQuick データをサポートするプリンタでのみ動作します。ImageQuickI データをサポートしないプリンタで Automatic Plus キューを使用すると、ジョブは正しく印刷されません。

- Automatic キューは、PCL エミュレーションデータ、PDF データ、PS エミュレーションデータをサポートしています。

メモ: Automatic PDF データ用のキューは、PDF データをサポートするプリンタでのみ動作します。PDF データをサポートしないプリンタで Automatic PDF キューを使用すると、ジョブは正しく印刷されません。

- PostScript エミュレーションキューは PostScript エミュレーションデータを印刷できます。
- PCL エミュレーションキューは、PCL エミュレーションデータと ASCII データを印刷できます。
- raw データキューは、プリンタ関連の追加コマンドを付加せずに印刷データを直接プリンタに渡します。

HTML、グラフィック、または PDF 形式をサポートしないプリンタでこれらの形式のファイルを印刷するには、これらのデータファイルを PCL エミュレーションまたは PostScript エミュレーションに変換するアプリケーションを使用して印刷する必要があります。

詳細については、25 ページの「ファイルを印刷する」を参照してください。

ホスト名が解決されない

- DNS ホスト名が解決されない場合は、ドメイン名のないホスト名を検索するようにシステムが設定されていない可能性があります。完全な DNS ドメイン名を使用してください。
- ネームサーバー(DNS サーバー)を確認します。NIS、DNS、または /etc/hosts ファイルにホスト名を追加します。
- 詳細については、オペレーティングシステムの説明書類を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

プリンタドライバがネットワークプリンタを見つけることができない

- プリンタの電源が入っていて、印刷準備が整っていることを確認します。
- LAN ケーブルがプリントサーバと LAN の両方に接続されていて、正しく機能していることを確認します。

メモ: 内蔵プリントサーバを使用している場合は、LAN ケーブルはプリンタに直接接続します。

内蔵プリントサーバを使用している場合	<ul style="list-style-type: none">• プrintサーバが正しくインストールされていて有効になっていることを確認します。これを確認するには、プリンタの設定ページを印刷します。Printサーバがセットアップページの接続状態の一覧に表示されます。• 操作パネルにネットワーク関連のメッセージが表示された場合は、40 ページの「その他の問題」を参照してください。• プrintサーバで TCP/IP が有効になっていることを確認します。Printサーバとプリンタドライバを機能させるためには、このプロトコルが有効になっている必要があります。プロトコルはプリンタの操作パネルで有効にできます。 <p>詳細については、Printサーバの説明書類を参照してください。</p>
--------------------	---

<p>外付けプリントサーバを使用している場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プリントサーバのランプを確認します。 詳細については、プリントサーバの説明書類を参照してください。 • プリントサーバから設定ページを印刷します。 詳細については、プリントサーバの説明書類を参照してください。 • プリントサーバ、プリンタ、ネットワーク間の物理接続が機能していることを確認します。 • プリンタとプリントサーバの電源を入れなおします。プリンタの電源を先に入れてください。
----------------------------	--

- プリンタドライバに指定した SNMP コミュニティ名が、プリントサーバに設定されているものと同じであることを確認します。
- プリントサーバを PING します。
 - PING が機能した場合は、プリンタの電源を切って、再度 PING して IP アドレスが重複していないことを確認します。
 - PING が機能しない場合は、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイが正しいことを確認します。
- ブリッジとルーターが正しく機能していることを確認します。

プリンタ機種名が表示されない

- 最新バージョンのアプリケーションを使用していることを確認します。
- 最新バージョンを使用している場合は、ソフトウェアおよび説明書類 CD または Lexmark のホームページを確認して、利用可能なソフトウェアプラグインがあるかどうか確認してください。
- すべてのプラグインがインストールされていることを確認します。
詳細については、31 ページの「プラグインマネージャユーティリティ(ソフトウェアの更新)」を参照してください。

ジョブが印刷されない

CUPS を搭載した Linux を使用している場合、印刷ジョブのフィルタリング方法を制御する MIME Type が原因で印刷問題が発生する場合があります。ジョブを正しく印刷するには、この MIME Type を削除して、印刷ジョブが正常にフィルタリングできるようにする必要があります(⇒16 ページの「CUPS」)。

その他の問題

- カスタマサポートにお問い合わせになる前に、このトラブルシューティングをお読みにになり、問題を診断してください。
- カスタマサポートにお問い合わせになる際には、あらかじめ以下の情報を収集してください。
 - 使用しているプリンタドライバのバージョン
 - 使用しているオペレーティングシステムとバージョン
 - 使用しているプリンタ
 - システムへのプリンタの接続方法
 - キューの構成
 - 使用しているアプリケーション
- ネットワークプリンタで、プリンタへのデータ送信時に問題が発生する場合は、プリントサーバのファームウェアレベルを確認してください。

コマンドラインで以下のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
# finger info@hostname
```

エディションおよび商標

商標と著作権

2008 年 9 月

以下の段落は、このような条項が該当地域の法令と矛盾する国では適用されません。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

Lexmark テクニカルサポートを参照するには、次のアドレスにアクセスします。 support.lexmark.com

消耗品とダウンロードに関する情報については、次のアドレスにアクセスしてください。 www.lexmark.com

インターネットにアクセスできない場合は、Lexmark の次の住所にお手紙でご連絡ください。

Lexmark International, Inc.
Bldg 004-2/CSC
740 New Circle Road NW
Lexington, KY 40550

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

© 2008 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

UNITED STATES GOVERNMENT RIGHTS

This software and any accompanying documentation provided under this agreement are commercial computer software and documentation developed exclusively at private expense.

商標

Lexmark および菱形の Lexmark デザインは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の登録商標です。

ImageQuick は、Lexmark International, Inc. の商標です。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれている一連のプリンタコマンド(言語)と機能の名称です。本機は、PCL 言語と互換するように開発されています。

ます。つまり、プリンタは各種アプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタはコマンドに対応する機能をエミュレートします。

Sun、Sun Microsystems、Solaris、および Solaris のロゴは、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標であり、使用許諾契約に基づいて使用しています。

その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org>) により開発されたソフトウェアが含まれています。

Additional Licenses

The Apache Software License, Version 1.1

Copyright (c) 2000-2002 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3 The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."
Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
- 4 The names "Apache" and "Apache Software Foundation", "Jakarta-Oro" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
- 5 Products derived from this software may not be called "Apache" or "Jakarta-Oro", nor may "Apache" or "Jakarta-Oro" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====
This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>

JDOM Software License 1.0

Copyright (C) 2000-2004 Jason Hunter & Brett McLaughlin. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the disclaimer that follows these conditions in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3 The name "JDOM" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact **request@jdom.org**.
- 4 Products derived from this software may not be called "JDOM", nor may "JDOM" appear in their name, without prior written permission from the JDOM Project Management at **request@jdom.org**.

In addition, we request (but do not require) that you include in the end-user documentation provided with the redistribution and/or in the software itself an acknowledgement equivalent to the following:

"This product includes software developed by the JDOM Project (<http://www.jdom.org/>)."

Alternatively, the acknowledgment may be graphical using the logos available at <http://www.jdom.org/images/logos>.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE JDOM AUTHORS OR THE PROJECT CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the JDOM Project and was originally created by Jason Hunter (jhunter@jdom.org) and Brett McLaughlin (brett@jdom.org). For more information on the JDOM Project, please see <http://www.jdom.org/>.

用語集

受付中	新しい印刷ジョブの送信を許可しているときの印刷キューの状態。 キューが受け付け状態の場合、ユーザは <code>lp</code> または <code>lpr</code> コマンドを使用して印刷要求を送信できます。
AIX	IBM 版の UNIX オペレーティングシステム。
エイリアス	BSD プリンタサブシステムの一部であり、これにより同じ印刷キューに複数の名前を付けることができます。
Automatic プリンタ言語	PostScript と PCL エミュレーションの両方のプリンタ言語をサポートしているプリンタ言語オプション。このオプションにより、ユーザーは PostScript、PCL エミュレーション、ASCII テキストファイルを同じ印刷キューで印刷できます。
ボーレート	シリアル通信の転送速度。送信側デバイスの速度は受信側ポートの速度と同じでなければなりません。
BPP デバイス	Sun の双方向パラレルポートの名称。 この種類の名称には、通常、 <code>/dev/bppxx</code> のようなデバイス名が含まれます。 <code>xx</code> は、適切なデバイス番号で置き換えられます。
コミュニティ名	「SNMP コミュニティ名」を参照。
無効	印刷ジョブが印刷キューに保持されているときの印刷キューの状態。
DNS	「ドメイン名システム (DNS)」を参照。
ドメイン名システム (DNS)	IP アドレスを解決してホスト名を取得するシステム
有効	印刷ジョブが印刷キューからプリンタに送信されたときの印刷キューの状態。
外付けプリントサーバ	トークンリングまたは Ethernet ケーブルを使用してプリンタを LAN に接続するためのハードウェア。 外付けプリントサーバにより、パラレルまたはシリアルプリンタのネットワーク接続が可能になります。
ファームウェア	プリントサーバにインストールされているソフトウェア。マイクロコードとも呼ばれます。
ファームウェアレベル	ファームウェアのバージョン。
ゲートウェイ	LAN とコンピュータなどの他の機器を接続するためのデバイス。
ホスト名	ネットワークプリンタまたはコンピュータを識別するのに使用する名前。
内蔵プリントサーバ	プリンタをネットワークに接続するために、プリンタ内部に取り付けられているカード。
Internet Protocol (IP)	パケットがネットワークをどのように通過するかを指定する標準プロトコル。パケットの形式を識別し、パケットをシームレスに配信する方法を表します。IP は TCP とは別のプロトコルですが、通常これらは一緒に使用されるため TCP/IP と呼ばれます。
IP アドレス	TCP/IP プロトコルを使用しているネットワーク上のプリンタに固有の物理アドレス。
LAN	「ローカルエリアネットワーク (LAN)」を参照。
LAN セグメント	ネットワークとは独立して機能するが、ブリッジまたはルーターでネットワークに接続されている LAN の一部。

lexlp	特定の印刷ジョブの[印刷プロパティ]を開くプログラム。
1 インチあたりの行数	用紙の 1 インチあたりに印刷される行数を指定するためのプリンタドライバの機能。この値は、1 ページあたりの行数の設定と連動し、用紙に印刷される文字の量を決定します。
1 ページあたりの行数	1 ページに印刷される行数を指定するためのプリンタドライバの機能。この値は、1 インチあたりの行数の設定と連動し、文字の量を増減します。
ローカルエリアネットワーク(LAN)	地理的に限定された区域内の構内にあるコンピュータネットワーク。
lsqueue_opts	コマンドラインオプションを使用して印刷する際に必要となる、印刷キューのプロパティオプションを表示するコマンドラインプログラム。
mkdevice	仮想デバイスを作成するコマンドラインプログラム。
mkqueue	印刷キューを作成するコマンドラインプログラム。
マイプリンタ	印刷オプションを簡素化するためにユーザが分類したプリンタのサブグループ。
ネームサーバ	ホスト名を解決してアドレスを取得する DNS サーバ。
ネットマスク	IP アドレスのローカルネットワーク部分を指定するビットマスク。ネットマスクにより、ネットワークを論理的に細分化することができます。
ネットワークアドレス	プリンタなどのデバイスが配置されている LAN 上の論理的な場所。通常 12 文字で表されます。
ネットワーク情報システム(NIS)	個々のシステムではなく、システムグループのユーザー、グループ、ホスト名、他のネットワーク情報を、管理者が設定できるようにする UNIX サービス。
ネットワークプリントサーバ	プリンタにインストールされているプリントサーバカード。
ネットワークプリンタ	プリンタを LAN に接続するための内蔵プリントサーバまたは外付けプリントサーバのあるプリンタ。
NIS	「ネットワーク情報システム(NIS)」を参照。
NIS テーブル	構成テーブル。「ネットワーク情報システム(NIS)」を参照。
Packet Internet Groper(PING)	ICMP エコー要求を送信して応答を待機することで、送信先 IP に到達できるかどうかをテストするソフトウェア。
パリティ	シリアル通信で使用するエラー検出方法の一種。偶数、奇数、なし、または無視を指定可能。送信側デバイスと受信側ポートが同じでなければなりません。
PING	「Packet Internet Groper(PING)」を参照。
pkgadd	System V ソフトウェアパッケージの追加ユーティリティ。
pkginfo	System V ソフトウェアパッケージの一覧表示ユーティリティ。
pkgrm	System V ソフトウェアパッケージの削除ユーティリティ。
ポート	コンピュータまたは外付けプリントサーバにある、プリンタケーブルを接続するための物理的な差込口
印刷して保持	プリンタのバッファにジョブを格納し、操作パネルから印刷するプリンタドライバの機能。
印刷ファイル	プリンタドライバから、印刷する特定のファイルを選択するための方法。
印刷キュー名	印刷キューの作成時に管理者が指定した名前。lp、lpr、lexlp コマンドが印刷ジョブを振り分けるのに使用します。

プリントサーバ	印刷キューから情報を取得して、それをプリンタに送信するハードウェアまたはソフトウェア（あるいは、ネットワークプリントサーバなどのような、ハードウェアとソフトウェアの組み合わせ）。「 内蔵プリントサーバ 」と「 外付けプリントサーバ 」を参照。
プリントサーバのホームページ	プリントサーバに格納されている、そのサーバに関する情報が含まれたページ。
印刷テストページ	ソフトウェアとプリンタ間の通信をテストするためにプリンタドライバから印刷するページ。
プリンタクラス	類似した特性と機能を備えているプリンタのプール。1 台のプリンタがビジー状態の場合、使用可能である次のプリンタに印刷ジョブを送信します。
印刷キュー	定義済みプリンタまたはプリンタプールに送信できるように、印刷ジョブを格納するための「 ステージング領域 」。 印刷ジョブが印刷処理のために格納されるサーバ内の場所。
プリンタの種類	特定の仮想デバイスに接続されているプリンタの機種名。
printq グループ	AIX グループ権限。通常、メンバーには、プリンタの設定、印刷キューの作成、プリンタの削除などの機能を実行する権限が与えられます。
process_printcmd	send_network などの他の転送エージェントのコマンドライン引数を生成するコマンドラインプログラム。
process_printjob	キューの設定に従って、印刷ジョブを印刷処理用にフォーマットするコマンドラインプログラム。
プロトコル	通信システム内の複数のデバイス間の通信とデータ転送を制御する一連の規則。
範囲	IP アドレスを検索するときに使用する、サブネットの指定した境界。
RAW データ	印刷キューによる解釈を必要としない ASCII データまたはプレーンテキストデータ。RAW データには、プリンタによって解釈されるコードを含めることができます。
拒否中	ユーザが lp または lpr コマンドを使用して印刷要求を送信できない場合の印刷キューの状態。
Red Hat Package Manager (rpm)	ソフトウェアパッケージのインストール、照会、確認、アンインストールに使用可能な Linux パッケージマネージャ。
rmdevice	仮想デバイスを削除するコマンドラインプログラム。
sam	HP-UX のシステム管理ユーティリティ。
send_network	データを TCP/IP ネットワークプリンタに送信するコマンドラインプログラム。
send_parallel	パラレルポートに接続されているプリンタにデータを送信するコマンドラインプログラム。
send_serial	シリアルポートに接続されているプリンタにデータを送信するコマンドラインプログラム。
send_usb	USB ポートに接続されているプリンタにデータを送信するコマンドラインプログラム。
SMIT	「 システム管理インターフェイスツール (SMIT) 」を参照。

SNMP コミュニティ名	1 週間に 1 回、管理対象ネットワークデバイスのエージェントへの照会を認証するのに使用する、プレーンテキスト形式のパスワード機構。他のユーザーがネットワークプリンタを使用できないようにするには、標準語「public」から始まるプリンタのコミュニティ名を変更します。これにより、印刷およびプリンタの管理に使用する数多くのツールが無効になるため、変更するのは本当に必要な場合だけにしてください。
	仮想デバイスで選択した SNMP コミュニティ名は、プリントサーバで選択したコミュニティ名と同じである必要があります。
サブネット	大規模なネットワークに接続されているネットワークのセグメント。LAN は、ローカルサブネットと呼ばれることもあります。
システム管理インターフェイスツール (SMIT)	AIX オペレーティングシステムで使用する管理ツール。
tar	複数のファイルを 1 つにまとめてアーカイブするための UNIX プログラム。インターネット上でプログラムを配布するために、圧縮プログラムとともに使用されます。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)	コンピュータとホストの接続に使用されるネットワークプロトコル。通常、UNIX 環境で使用されます。
仮想デバイス	仮想デバイスが表しているプリンタに関する情報が含まれています。キューは、仮想デバイスからの情報を使用して、データをプリンタに転送します。ただし、仮想デバイスは /dev ディレクトリにあるシステムデバイスではないので、他のアプリケーションは仮想デバイスを使用してプリンタに情報を送信することはできません。
X クライアント	X Window System を使用して実行されるプログラム。
X サーバ	X クライアントのグラフィカルな出力をディスプレイに表示し、入力デバイスからの入力を X クライアントに配布するプログラム。
X Window System	ネットワーク経由でプログラムを表示可能な X Window System。X Window System サーバは、モニタに接続されたコンピュータ上で動作します。X サーバは、キーボードとマウスで入力した情報を、X クライアントと呼ばれる X Window System プログラムに転送します。また、X サーバは X クライアントからの出力を受け付け、モニタ上でグラフィックを表示します。
XON/XOFF	シリアル通信で使用するシリアル伝送信号の一種。送信側デバイスと受信側ポートが同じでなければなりません。

索引

アルファベット

CUPS 40
Linux、使用 5
UNIX
 使用 5
UNIX システム要件 35

KANJI

1 ページ当りの行数、設定 27

あ行

印刷可能領域、定義 27
印刷キュー
 印刷キューの追加ウィザードによる作成 18
 エイリアス 21
 エイリアスの表示 21
 管理 33
 クラスからの削除 23
 コマンドラインからの作成 19
 削除 30
 状態の変更 20
 トラブルシューティング 36, 37, 39
 プリンタグループへの追加 23
 プロパティの変更 21
 別のプリンタに変更 30
印刷キューの追加ウィザード 18
印刷して保持 27
印刷ジョブの印刷方向 26
印刷ジョブの保持 27
印刷する
 1 枚の用紙への複数ページ印刷 26
 duplex 25
 印刷して保持 27
 印刷部数 26
 印刷方向の指定 26
 コマンドラインから 24
 テキストファイル 27
 テストページ 25
 部単位の印刷 26
 プリンタドライバから 25
印刷部数 26
オペレーティングシステム、サポート 6

か行

カスタマサポートへの問い合わせ 40
仮想デバイス
 コマンドラインからの作成 18
 削除 29
 デバイスマネージャで作成 17
 ネットワークオプション 35
 必須情報 17
 変更 29
管理グループ
 グループ名の変更 16
 ユーザの削除 16
 ユーザの追加 16
管理者モード 34
コマンドライン 33
 印刷 24
 印刷キューの作成 19
 仮想デバイスの作成 18

さ行

削除されなかったディレクトリの削除 12
サポートしているオペレーティングシステム 6
システム要件 7
セットアップ
 CUPS 16
 Web ブラウザ 14
 アジア言語ドライバ 15
 管理グループ 14
 デスクトップ統合 15
 用紙サイズ 15
ソフトウェアの更新
 インストール 31
 削除 31
 スクリプトを使用した管理 31
ソフトウェアの更新、管理
 プラグインマネージャユーティリティの使用 31

た行

通知事項 42
テキストファイル、印刷 27
テストページ、印刷 25
デバイスマネージャ 17

トラブルシューティング

印刷キューが印刷ジョブを受け付けない 37
印刷キューが無効になっているかダウンロードしている 37
印刷キューに送信したファイルが正常に印刷されない 39
印刷キューは空になっているが、自分のドキュメントが印刷されなかった 36
ジョブが印刷キューに長時間表示される 36
プリンタドライバがネットワークプリンタを見つけることができない 39
プリンタドライバが表示されない 40
ホスト名が解決されない 39

は行

バナープログラム
 記述 28
 使用 29
標準設定 34
部単位の印刷 26
プラグイン
 インストール 31
 削除 31
 スクリプトを使用した管理 31
プラグイン、管理
 プラグインマネージャユーティリティの使用 31
プラグインマネージャユーティリティ 31
プリンタエイリアス 21
 作成 21
 表示 21
プリンタクラス 22, 35
 キューの削除 23
 作成 22
 追加 22
プリンタグループ 35
 印刷キューの追加 23
 削除 23
 作成 23
プリンタドライバ
 印刷 25
 インストール 6

管理者モード 34
削除 11
トラブルシューティング 39, 40
開く 14
ユーザモード 34
プリンタドライバのインストール
HP-UX 7
Linpus Linux 9
Red Flag Linux 9
Red Hat Linux 9
Sun Solaris SPARC へ 10
Sun Solaris x86 10
インストールする場所 11
インストールする前に 6
ホスト名のトラブルシューティン
グ 39

や行

ユーザモード 34

ら行

両面印刷 25